

3年生

WYSH 教育を実施！

WYSHとは、(Wellbeing of Youth in Social Happiness)「若者の真の幸福」の略であり、すべての子どもたちが心身ともに健やかで幸せに過ごすことができる社会を目指すこと。

京都大学の木原雅子先生が取り組まれる、WYSH 教育を実施しました。

WYSH 教育のメインメッセージは、「**希望に向かって凜として生きてほしい**」です。サブメッセージとして、「**誰にでもリスクがある**」(危機管理教育)や「**時間をかけて丁寧な人間関係を築いてほしい**」(人間基礎教育)ということ子どもたちに伝えたいという思いで実施しています。



エイズ、性感染症、人工妊娠中絶などのパワーポイント授業のあと、各グループに分かれ、予防方法について交流しました。



今の自分を振り返るグループワークでは、自分が中学生の時、高校に対するイメージはどんなものだったか、また現実はどうかなどを交流しました。



グループワークが終わってから、今度は未来の自分に手紙を書きました。

その後、メッセージビデオ「あなたの物語～一生ですべきだった一つのこと～」をみんなで見ました。

生徒の感想

・ビデオを見て改めて性感染症は怖いものだと思います。自分一人だけの問題だと思わずに相手のことも考えて行動することが大切だとわかりました。焦らず時間をかけて考えるということがわかりました。これからの生き方をもっと考えて、1日1日を大切に生きていたいと思いました。



・性感染症は怖いと思いました。また望まない妊娠によって新しい命を無駄にするなんていけないことだと改めて思いました。また、友達に傷つくような言葉遣いはしてはいけないと思ったし、自分が何気なく使う言葉が時に人を傷つけるので気を付けていかなければと思いました。

・小学校の頃から性教育の授業があって、なんでこんなに同じことを何度もするのだろうと思っていたけど、それだけ重要なことなんだと思いました。

・メッセージビデオを見て自分は選ばれて生まれてきた人間なんだと思った。その選び抜かれた分、精一杯生きていこうと思った。

・すごく感動した。今、生きていられることが素晴らしいことなんだと感ずることができました。頑張ってこれからの人生を歩んでいきたいです。自分で納得のいくような人生を歩めるようにしていきたいです。

